

書籍紹介

ゆらぐ歴史の定説

「最悪の將軍」 朝井まかて著

「生類憐れみの令」と聞けば、「ああ、あの悪法！」と誰もが思うのではないのでしょうか。しかし、そんな定説が少し揺らぐ思いがするの、この本「最悪の將軍」です。

この法を制定したのは、徳川5代將軍綱吉ですが、果たして、それは人より動物（一般には犬と言われることが多い）を大事にせよ、などということを目的にしたのであったのか、そのところが「朝井」説として物語られているのがおもしろい。ネタバレになつてしまふので、多くは書けませんが、この「生類憐れみの令」は、ただ単に人間よりも犬を大切にしろなどというものではなく、捨て子・捨て親の禁止や、動物を人間の都合で無用に殺生することを禁止した法なのですが、結果的にねじ曲がつて世の中に法が適用されていってしまふ。「徳をもつての世の中であれ」という綱吉の本意が伝わらなかった

のです。

また、綱吉の時代は、大坂夏の陣から60年ぐらいいし経つていない時でもあつたため、まだまだ戦国時代の名残が多く残つていた時です。そのため、無骨な武士を何とか文化的にも高めたいという願

い（武断政治から文治政治への転換といわれています）をもつて綱吉は將軍に就いたのですが、それがまた誤解を生むのです。かの有名な「忠臣蔵」事件での將軍の裁きも、武断政治を終わらせたいという気持ちがあるせいかもしれません。4代將軍家綱の直系男子での相続でなく、次代までの



「中継ぎ將軍」と低く見られたことで、それを跳ね返すため多少強引な政治をやつてしまった、ということも遠因としてあつたのもしれません。

さらに、綱吉の時代は地震・富士噴火や江戸の大火などの天変地異が相次いだ時代でもあり、それは自分の為政者としての徳のなさなのだろうか

と苦悩する姿も描かれています。 いずれにせよ、読み進めていくうちに「最悪の將軍」という表題は、庶民にとつて「最悪」だったのではなく、綱吉にとつて「最悪」だったのではないかと思えてきてしまいます。 これ以上の解説は読書の興味を損ねますのでやめましょう。是非「歴史の定説」を味わつてみてください。

今年もまたまた

新春 お楽しみパズル

今回はちょっと難しいかもしれませんが、挑戦してみてください

締め切りは 2月10日



正解者から抽選で3名に、図書券1000円分をプレゼントします。解答をメール及び葉書で市教組宛に送ってください。

マス目が全部埋まったら、A~Hの文字をつなげて、ある言葉を出してください。この催しの名称が今回の答えです。ただし、一文字だけ、かなづかいを直してください。（「お→を」）

Grid for the word search puzzle with numbers 1-20 and letters A-H.

- 【タテのかぎ】 1 アヤメ科の多年草。古くから香辛料・薬・染料に利用。 2 □□□科の常用高木。飛騨高山の□□□一刀彫。 3 杜子春がたたずんでいたのは唐の都□□□□の西の門の下……。 4 物事をなす、かんどころ、要領。呼吸。 5 齷齪。 8 筋肉や関節に痛みが生ずる疾患。□□マチ。 10 ビタミンB1のこと。 12 樅。またブナ科コナラ属の高木の総称。 13 街中に備えられていて、よく犯罪捜査などにも活躍している防犯□□□。 15 醬蝦。佃煮が美味しい。 16 この魚の卵巣を塩漬けにしたものが「からすみ」。 18 「□□もガラスも照らせば光る」

- 【ヨコのかぎ】 1 笏拍子、竜笛、笙、琵琶などの伴奏に数名で斉唱する雅楽の音楽曲。 4 ものの中心部。中核。核心。 6 俸禄を給して、家臣としておくこと。またその俸禄。 7 パソコンのマウスをカチッとやること。 9 特別天然記念物。氷河時代の生き残りの動物という。 11 目と目が□□。馬が□□。 12 10の8乗。 13 楮、三桠は何の原料。 14 アメリカの詩人・小説家。「黒猫」「黄金虫」。 15 「水馬」とも書く昆虫。 17 「カ変」の動詞。 19 鯨座にある赤色の変光星。 20 黒田清輝の名作。「智・感・情」。

Grid for the word search puzzle with letters A-H.

(出題 市教組OBの山木康裕さん)